

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0272701053		
法人名	株式会社 サンメディックス		
事業所名	グループホーム あいの里		
所在地	青森県三戸郡南部町大字小泉字下館野7-6		
自己評価作成日	令和4年10月3日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 青森県社会福祉協議会		
所在地	青森県青森市中央3丁目20番地30号		
訪問調査日	令和4年11月15日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>家庭的な雰囲気の中で、その人らしく、ありのままに、安心して生活できるよう支援しています。訪問看護と24時間、365日連携を図り、身体状況や体調管理に配慮できるようにしています。主治医や家族と連携を密にして、受診にも対応できるようにしています。</p>
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>「その人らしくありのままに安心して生活できるように」との思いを理念に込め、それを実現するために、職員は日々のサービス提供に取り組んでいる。ホームでは協力医療機関や訪問看護師と24時間体制で連携を図り、全ての職員が不安なく対応できるような体制作りに取り組んでいる。また、災害時にスムーズに避難できるように非常口を追加することや、浴室の改修や機械浴の導入等、今後更なる改善に向けて検討を行っている。</p>
--

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き生きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念を玄関から見える場所に掲示し、利用者に寄り添った介護ができるよう取り組んでいる。	その人らしく、ありのままに安心して生活できるようにという思いを込めた、ホーム独自の理念を作成し、玄関に掲示する等して共有を図っている。職員は理念に込められた意味を理解し、日々、理念に沿ったケアができるように取り組んでいる。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	新型コロナウイルス感染症の感染拡大のため、地域とのつながりはあまりない状況である。	コロナ禍のため、地域と交流を図ることが難しい状況であるが、以前は、町のお祭りや敬老会等に参加している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	町の見守りSOSネットワーク模擬試験に協力している。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回の運営推進会議にて、研修や行事等の活動報告をし、運営推進委員の意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍のため、文書で利用者の暮らしぶりやホームの取り組み状況等の報告を行っている。また、メンバーから意見や情報をいただけるよう、「評価要望等照会書」という手紙と返信用封筒を一緒に送付している。	
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	町の福祉介護課と連絡を密に取り、ベットの空き状況や待機者数等を定期的に報告している。	町の担当課とは日頃からやり取りを密に行い、質問や確認事項等がある時は電話している。また、運営推進会議の議事録や自己評価及び外部評価結果等についても報告している他、「見守りSOSネットワーク模擬試験」等、町の取り組みにも協力する等、関係構築に努めている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束のマニュアルに沿って、身体拘束をしないケアをしている。	3ヶ月に1回委員会を開催し、現状確認及び勉強会を行い、議事録を回覧して全職員で内容を共有している。管理者・職員共に身体拘束は行わない姿勢でケアに取り組み、夜間以外は玄関の施錠を行わず、職員が協力し合って見守りをしている。また、やむを得ない場合に備え、同意書と経過記録等を残す体制を整えている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止委員会を設置し、毎月の職員会議にて研修を行い、虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員会議で、日常生活自立支援や成年後見制度について説明や研修を行い、理解を深めるようにしている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の改定の際には不安がないように説明をし、同意を得ている。		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	面会や電話連絡の際、意見や要望を伺い、外部者にも伝えることができる旨、廊下にも掲示している。	日々のケアを通して、利用者の意見や要望を聞けるように働きかけている。家族には、担当職員からの手紙で利用者の生活状況等をお知らせしている他、電話連絡時等にも要望等を聞いている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月1回の職員会議時に事前に意見を集め、提案してもらい、会議以外でもその都度意見を聞いて、運営やケアに反映させている。	月1回の職員会議で気兼ねなく話し合いができる他、日々の申し送りや業務の合い間にも職員同士で話し合ったり、管理者に相談できる関係が築かれている。また、必要に応じて職員の意見や提案を業務に反映させ、職員が働きやすい環境作りに取り組んでいる。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	各職員の就業状況・家庭環境に配慮し、公休等の勤務希望にも沿えるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	代表者は管理者からの報告を踏まえ、各職員の力量を把握するように努めており、研修の情報を提供して、積極的に参加するように促している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームネットワーク会議や施設内の研修に参加することで、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	利用者や家族から不安や要望を聞き取るだけでなく、様子を見ながら、不安や要望に気づくように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	サービスを利用する段階で、家族の要望や不安を伺いながら話し合い、納得した上で利用していただくように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	その時に必要なサービスを提供しながら、状況の変化に応じたサービス提供ができるようにしている。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	施設内では、職員・利用者が共に生活できる仲間であることを常に意識して、利用者と一緒に食器拭きや洗濯畳み等を行っている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者の1ヶ月の状況を家族に報告し、本人との絆に配慮しながら、家族と共に支え合う関係を築けるように努めている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	制限がある中で窓越しに面会する等、人や場所との関係が途切れないように工夫し、支援している。	コロナ禍により通常の面会は難しいが、リビングの窓越しでの面会や、感染状況を見ながら、玄関先で適切な距離を保って面会してもらう等し、これまで大切にしてきた関係を継続できるように支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員間で情報を共有し、座席の配置等に配慮したり、職員が間に入って会話を促す等、交流できるように工夫しながら支援をしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービスが終了しても相談があれば応じ、可能な限り対応している。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの利用者から思いや意向を聞き取るように努め、本人の意向が確認できない場合は、本人の気持ちになって検討するようにしている。	何でも気兼ねなく言い合える関係作りに取り組み、表情や言動からも思いや希望を把握できるように心がけている。また、十分に把握できない場合は、家族に現状を説明して在宅時の生活状況を聞く等し、全ての職員が利用者の視点に立って検討を重ね、思いの把握に努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	一人ひとりの利用者から聞き取るようにし、家族からは入所時や面会時に、これまでの暮らし方や生活歴を聞きながら、把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人の状況変化を記録したり、変化や気づきは申し送り時に報告し、会議の場等で検討している。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	計画作成担当者が本人や家族の意向を反映しながら、担当職員と情報を共有し、現状に即したプランを作成している。	日々の会話を通して利用者の要望を捉え、家族の意見や担当職員の気づきも反映させ、利用者一人ひとりの現状に合った介護計画を作成している。毎月のモニタリングと実施期間毎の評価を行っている他、状態変化等により必要な時は、随時見直しを行っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子を個別介護記録に記入し、その内容から得た情報を共有して、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族対応が困難な場合の受診支援や、要介護更新時の事務手続きの支援を行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	理・美容院や郵便局、銀行、警察、消防署等を把握し、安全で豊かな暮らしを楽しむことができるように支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	施設としてのかかりつけ医はいるが、利用者や家族の意向を尊重し、希望に応じて、入所前のかかりつけ医を継続して受診できるようにしている。	月1回の協力医療機関による往診の利用も可能だが、希望する医療機関があれば継続できるように支援している。また、家族とは電話や手紙等で情報共有を図っている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	週1回の訪問看護があり、体調や状態を報告している。また、24時間の連絡体制が確保できており、変化があった場合は指示を仰ぎ、連携を図っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時は家族と連絡を図り、利用者の了解を得て、情報提供書を病院へ提出している。また、退院時には病院関係者との情報交換を行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入所時に、看取り介護に関する指針について同意を得ており、ケアプランの確認時や面会時に事業所のできる事を説明しながら、支援をしている。	入居時に「重度化及び看取り介護に関する指針」を基に説明を行い、入居後の状態変化に応じて、随時、医師や家族と話し合いをして、意思統一を図っている。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	定期的な訓練はできていない。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の夜間想定避難訓練を実施しているが、コロナ禍なので、地域との協力関係は築けていない。	年2回、避難訓練を行っている他、防災設備の点検も業者委託で行っている。また、災害発生時に備え、5年間保存可能な保存食セット3日分と、石油ストーブやカセットコンロ、毛布等を準備している。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	一人ひとりの人格を尊重し、プライバシーを損ねない声かけができています。	馴れ合いにならないよう、声かけの仕方や接し方に注意を払い、尊厳やプライバシーに配慮して、利用者一人ひとりのペースに合わせた支援に努めている。また、会議等でも日頃のケアを振り返る機会を設け、不適切と思われるケアが見られた時はその都度注意し、改善に向けて取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	お話を傾聴することで利用者が思いを伝えられるようにし、些細な事でも本人の希望を聞き、自己決定ができるようにしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりのペースに合わせてコミュニケーションを図りながら、できる限り、その人の希望に沿った支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回、外部の理容師に来てもらい、散髪をしている。また、その人らしい身だしなみや衣類の選択ができるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	調理は職員が行っており、野菜の皮むきや食器拭き等、できる事を職員の見守りにて一緒に行っている。	お盆・正月・敬老会等、月1～2回行事食を取り入れている他、身体状況により刻みやミキサー食を提供し、全ての利用者が楽しみながら、適切に栄養を摂取できるように取り組んでいる。また、食事の盛り付けや食器拭き等、利用者個々の能力や意向により手伝ってもらっている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の食事、水分の摂取量を利用者毎に記録し、摂取量を把握している。また、常食や刻み食、極刻み食等、利用者の状態に応じて提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、本人の能力に応じた口腔ケアができています。		
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するように努め、トイレで排泄ができるよう、自立に向けた支援を行っている。	排泄状況を記録して、個々の排泄パターンに合わせたトイレ誘導と、行動や仕草からの排泄サインの気づきにより、できるだけトイレで排泄できるように支援している。また、その時々々の体調や状態変化に応じて、随時、職員間で排泄用品の変更やケアの仕方等を話し合い、家族とも相談しながら支援を行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分不足により便秘傾向にある利用者には、水分を多めに摂取するように促したり、下剤の調整等、利用者に合わせて対応に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた支援をしている	曜日や時間帯を決めた入浴を行っているが、個々に安心して快適な入浴ができるように努めている。	火曜日と金曜日の午前・午後を通して入浴の日としており、拒否が見られた時は時間を置いたり、声がけの仕方を工夫する等の対応をしている。また、必要時には職員二人で介助する等、安全にも十分に配慮している。	

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	利用者の希望に応じ、日中も休息をしている。夜間、快適な安眠につながるよう生活習慣の見直しを行い、気持ち良く眠れるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各利用者の薬の目的や副作用を把握し、服用時には介助や見守りを行っており、変更があった際も、病状の変化に気をつけている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	入所時や面会の際、家族から生活歴を聞き、日常会話に取り入れながらできる事を行うことで、自信につながるよう支援している。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	希望があれば、外出してドライブできるようにしており、家族とも外出することができるように支援している。	コロナ禍により以前のような外出は難しい状況だが、感染状況や安全面に配慮しながらドライブに出かけたり、屋内での行事を数多く企画する等、工夫しながら取り組んでいる。また、集団での行動は難しいため、家族と一緒に外出できるよう、個別支援も検討している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	本人や家族の希望があれば、所持してもらえるようにしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	家族や知人から電話があった際は、本人とお話ができるようにしている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有スペースに温度計・湿度計を設置する等の配慮をし、廊下やトイレ、浴室に手すりを取り付け、リビングではソファに座って休んでもらっている。	リビングには大きな窓があり、外の景色を見渡して季節を感じることができる他、通りがかりの子供達と手を振り合うこともある。また、コロナ禍においては空気清浄機を利用したり、窓を開けてこまめに換気を行う等し、快適な環境作りに努めている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	新聞を広げて読んだり、リビングや食堂のテレビのリモコンを好きな時間に操作できるようにし、自由に過ごせるように支援している。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の使い慣れた枕や毛布を使用してもらったり、ラジオを聞きながら、居心地良く過ごせるように工夫している。	入居時に、使い慣れた物を持って来ていただくように働きかけ、椅子やラジオ等の持ち込みがある。また、持ち込みが少ない場合はホームの物品を貸す等して必要な物を揃え、安全に気持ち良く過ごせる居室作りをお手伝いしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	トイレや浴室に目印を付け、場所の間違いをなくす工夫をしている。また、夜間暗くなると足元を自動点灯するライトを使用し、移動の安全に配慮している。		